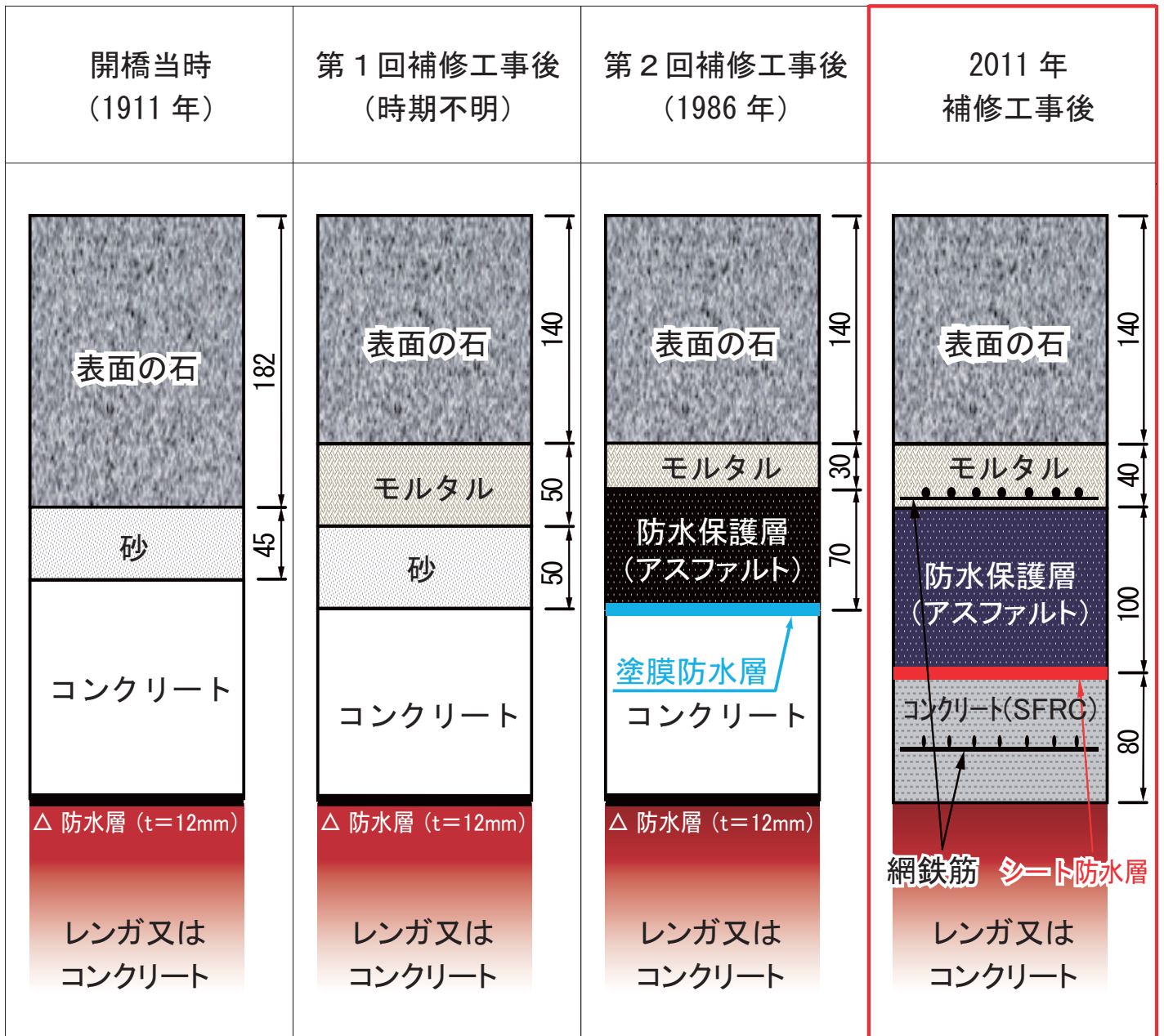


防水工事開始

表面の石を取りはずし、レンガやコンクリートが現れるまで平らに削り取ることで、今までのでこぼこやしみの原因をきれいに取り除きました。

ここから新しくコンクリートや防水シートを積み重ねていくことで、車の重さに耐え、雨水のしみ込みにくい橋を完成させます。

今回の工事では、より丈夫に、より防水性を高め、より長持ちするよう最新の技術で、橋を補修しました。

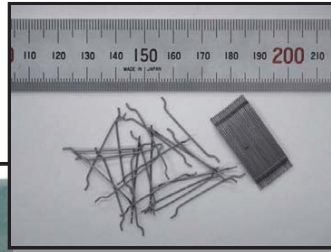


▲日本橋の舗装の変化（開橋当時から2011年まで）

まず、レンガなどの中詰材の上に
コンクリートを設置します。

今回、SFRCというひび割れに
強い特殊なコンクリートと網鉄筋を
使うことで、車などの交通により強
い橋にすることを考えました。

路面電車の名残で（P16参照）へ
こんでいた部分も、コンクリートで
平らにしました。



スチールファイバー



▲SFRC(スチールファイバー入りコンクリート)



▲防水シートの設置状況

次に、橋の表面から水が入り込
まないようにします。
今回の工事では、橋一面に防水
シートを敷き詰める方法を採用し
ました。



ぼうすいほごそう
▲防水保護層（アスファルト）の設置状況

防水シートの上に防水保護層
（アスファルト）を設置します。
この防水保護層は、防水シー
トを保護する役割と、車が走る
ことで生じる衝撃を吸収する役
割があり、今までのものより、
より強度や耐久性のある材料を
使用しました。